

LLS-200をおススメする理由

① 3人必要だった検測作業が 1人で楽に行えます!



従来の水糸は糸持ち2人、検測者1人の3人が必要

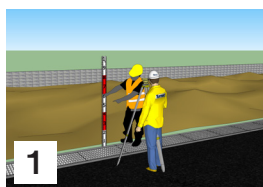


LLS-200なら1人でできます!

補充碎石量、どの機械がどれくらい必要か、図面通りに水勾配がとれるのか、どこを削ってどこを盛るのか…
→ この不安は、事前や施工中の検測により解消します。

LLS-200を使えば、人手をとらずいつでも好きな時に検測できるので自分のタイミングで測れます。
気になるポイントを数値化し、現場の現況がすぐに理解できるのです。

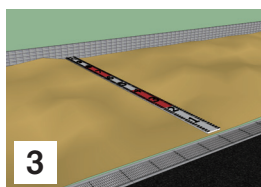
今までのこの流れを変える!



1 側溝の高さを測る



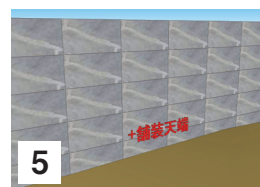
2 ブロック塀の高さを測る



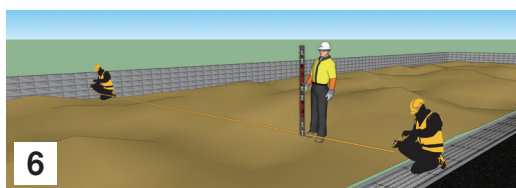
3 距離を測る



4 計算をする



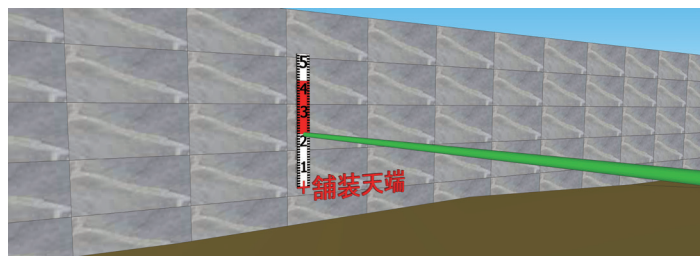
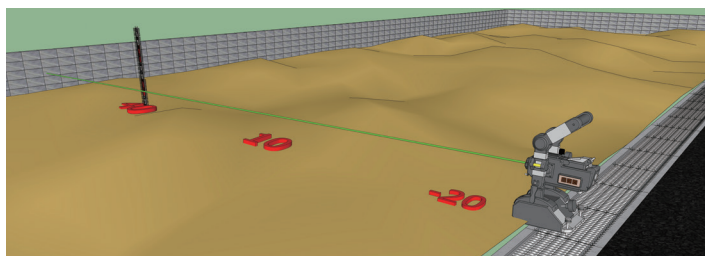
5 マーキングをする



6 検測



レーザーを置いて検測 → ついでにマーキング(墨出し)までわずか1分!! しかもたった1人で



② 施工速度が従来からの1.7倍!

※当社比

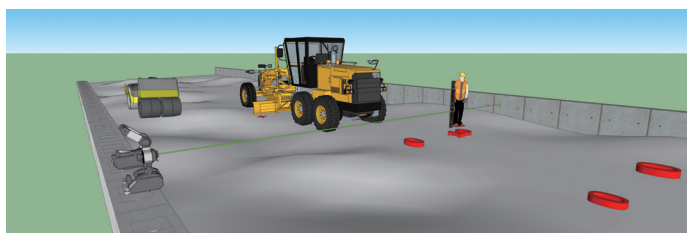
施工速度が1.7倍になる理由!



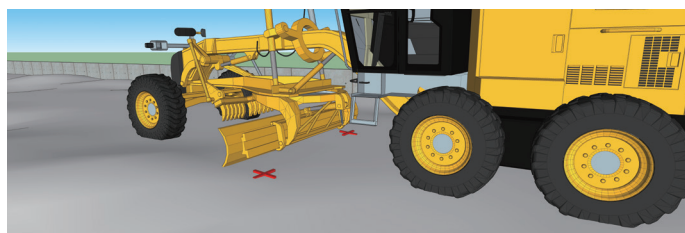
- 1 レーザーなので重機の往来にも邪魔にならず、張りっぱなしが可能
- 2 数値化されると削り厚も瞬時に把握
- 3 できたと思っていた路盤も測ると3cmも高いと判明!
- 4 いざ削り直し(早い段階で高さを示すことができるので、削って出てきた碎石もまだ均していない場所に移すことができ、二度手間にならない)
- 5 削った直後にもう一度検測。間違いのない高さができれば隣のレーンへ移動し、繰り返す

検測は施工速度に直結する!!

大切なのは削った直後の高さが合っているかどうか。



グレーダーのオペレーターも自分が均した高さが合っているかを把握していません。だから均した直後に数値化が必要です。この検測の素早さが施工速度を激的に向上させます。

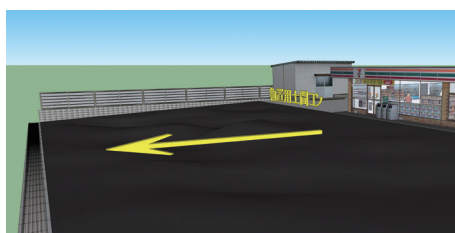


誤差が見つければ、グレーダーが近くにいる間にオペレーターに知らせ、オペレーターを誘導する事により迷いが無くなるのです。

こんな時もLLS-200はユーザーの味方です

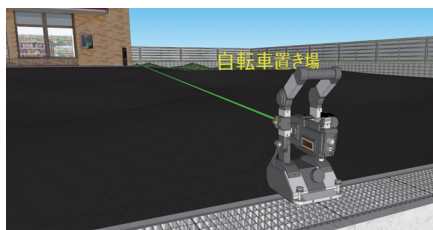
元請けさんから指示された計画高は本当に信用していいのでしょうか?

➔ 絶対に信用してはいけません! 自分の目で確かめてから着工しましょう。



例:本当にその勾配で水が流れますか?

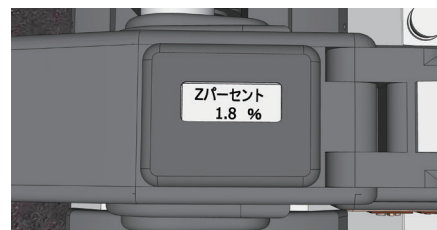
LLS-200を使うと



側溝にLLS-200を置き、気になるポイントにスタッフを置きます



スタッフの200mmの位置にレーザー光を合わせます



液晶モニターの数値を確認するだけ

③ 重機の往来を邪魔せず、 面倒な丁張りも不要!

硬く締った
路盤に
杭を打ち込む

レベルでの
測量

面倒な計算

水糸を
引っ掛ける為の
釘打ち

**この、時間と手間のかかる作業を
いつまで続けますか？**

LLS-200はレーザーを使用するため、重機の往来の邪魔をせず、レーザー光を張りっぱなしにできます。今まで距離がある時水糸が弛まないように必要だった丁張り杭も必要ありません。



機械を片側の構造物に置き、もう片側の構造物にスタッフを置いて、200mmにレーザーを合わせるだけで検測を始められます。30m程度なら目視できるので、中央に丁張り杭はいりません。デジタル水平器の絶対%、相対%ボタンを併用する事でキャンバーも容易に検測できます。路盤の高さが合うまでは **LLS-200**を移動させず、高さが決まるまで何度でも測れます。これは路盤の精度もUPさせてくれます。

ユーザーの皆様から うれしいお言葉を頂いております

現場監督さん

- ややこしい計算をしなくてもよくなり、墨出しが早くなりました。
- 面倒な初期設定が要らないので、すぐ検測ができるので事前検測が早くなりました。
- 現場に必要な碎石の量がほぼピッタリになりました。
- 路盤検査を受ける時、堂々としていただけるようになりました。
- 現場で忙しい時、下請けさんに墨出しを任せる事ができるようになりました。
- アスファルト合材の食い込みが減りました。

重機オペレータさん

- 通常、構造物付近から高さを目安として敷き均しますが、数値化してもらえるので、中央から始められます。
- 敷き均しの直後に数値化してもらえるので、すぐ削り直しができます。
- やはり通常の施工速度より断然、早くなったのと同時に日当たりの施工量が増えました。
- 敷き均した路盤の高さに自信を持てるようになりました。
- フィニッシャーのゲージが合わせやすくなりました。

手元作業員さん

- 今までいつ仕上がったのかわかりませんでした。数字が0になれば終わりなのでハッキリわかるようになりました。
- 数値化するので、瞬時にオペレーターに知らせる事ができるので連携がとれ作業が早くなりました。
- 今まで検測するのに3人必要だったが一人でできるので、検測回数が増え、路盤の精度が上がりました。
- 早く帰れるようになりました。

